

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年2月8日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年2月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【社外開示資料におけるマスクング不備の発見について】 当社社員が、福島第二原子力発電所で発生したマスクングの不備を受け類似事例の調査をしたところ、福島第一原子力発電所においても社外開示資料1件に、マスクングの不備(マスクングの下の情報が読み出せる)を発見。原因調査および再発防止対策を検討中。</p>	GⅢ	2月3日
2	<p>【当社社員の3/4号機装備交換所における電子式線量計とガラスバッジの置き忘れについて】 協力企業作業員が、3/4号機装備交換所にて電子式線量計とガラスバッジが置いてあることを発見し、回収。当社社員が、当該装備交換所で装備交換後、巡回バス乗車中に電子式線量計とガラスバッジの置き忘れに気づき装備交換所へ引き返した。 そこで、協力企業作業員より電子式線量計とガラスバッジを受領。 今後、当社社員の被ばく線量評価を行う。 また、装備交換所で電子式線量計とガラスバッジを外した原因と再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	2月5日